

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予察防除情報第17号

いちご アザミウマ類（本圃）の防除対策について

現在、いちごの花におけるアザミウマ類が平年より多い傾向にあります。本虫は多発してからでは被害を防ぐことが困難になるので、アザミウマ類の密度を下げるため、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況等

11月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生花率は1.6%（過去5か年平均 0.1%）、発生圃場率は61.5%（同 8.9%）であった（図1、2）。

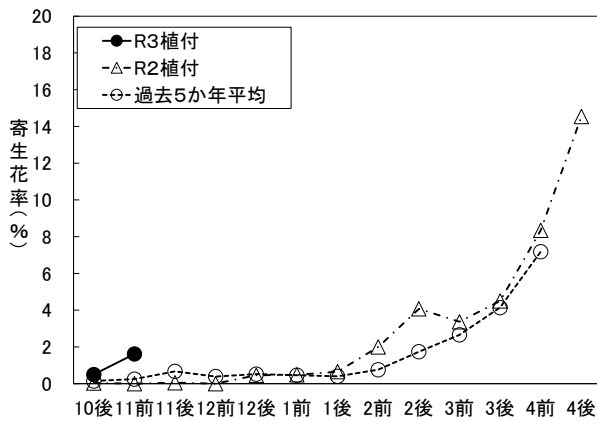


図1 いちご アザミウマ類 寄生花率

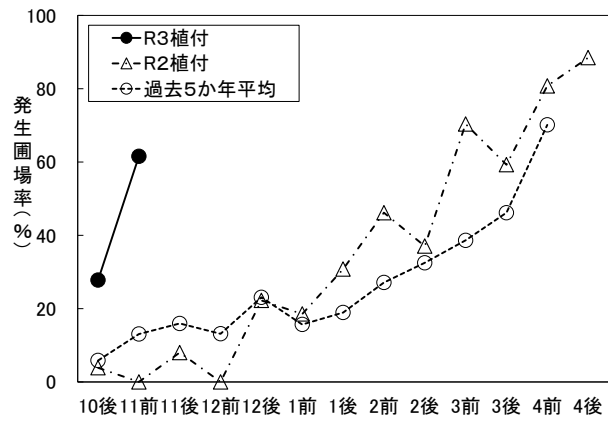


図2 いちご アザミウマ類 発生圃場率

2. 防除対策

- (1) 本虫は体長が小さく、薬剤がかかりにくい花やがく等に寄生しているため、丁寧に薬剤散布を行う。また、発生が多くなってからの薬剤散布では効果が劣るので、花や果実をこまめに観察し発生初期の防除に努める。
- (2) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤（令和3年長崎県病害虫防除基準P216～219の「作用機構による分類（IRAC）」参照）を連用しない。
- (3) ミツバチや天敵への影響日数を確認してから薬剤選定、散布を行う。
- (4) 施設内および施設周辺の雑草は、アザミウマ類の生息場所や薬剤散布時の避難場所となるため除去し、環境整備に努める。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所） TEL：0957-26-0027

